

市町村独自の取組事例

- | | | |
|---------|-------------------------|-----|
| 1. 平群町 | | |
| | 歯科保健推進員 平群8020「は・は・歯」の会 | 2頁 |
| 2. 宇陀市 | | |
| | ウェルネスシティ宇陀市 よい歯のコンクール | 4頁 |
| 3. 五條市 | | |
| | 健康と福祉のフェスティバル | 10頁 |
| 4. 下北山村 | | |
| | 後期高齢者医療口腔健診事業 | 12頁 |

歯科保健推進員 平群8020「は・は・歯」の会(平群町)

事業の位置づけ

- ・ 第1次 健康へぐり21計画
- ・ 第2次 健康へぐり21計画

事業開始年度

- ・ 平成14年度

予算額

- ・ 7千円(平成30年度)

事業の目的

- ・ 住民参加による地域歯科保健活動を展開し、8020運動を推進する。

特色

- ・ 啓発内容が専門職ではない住民目線で作成されており、文言等わかりやすいものとなっている。
- ・ 活動が平群町内に留まらず、県レベルのイベントにも招聘されるなど、広範囲に及んでいる。
- ・ 活動が評価され表彰されている。

受賞歴

- ・ 奈良県歯科保健文化賞(平成19年度・奈良県)
- ・ 「8020の里賞」奨励賞(平成22年度・(公社)母子保健推進会議)
- ・ 健康づくりの取組に対する知事表彰(平成27年度・奈良県)

事業内容

- ・ 健康へぐり21計画に位置づけられた健康づくりヘルスポランティアによる地域保健活動のうち、歯科保健部会の活動
- ・ 部会の構成員である歯科保健推進員は9名(うち1名は歯科衛生士)
- ・ 町の担当者との打ち合わせ会(定例会)の実施
- ・ 町健康づくり推進協議会等、会議への出席
- ・ 活動で使用する紙芝居、エプロンシアター、ペープサート、寸劇のシナリオ・衣装の作成
- ・ 各種イベント等で参加者の年齢層に合わせた手法により歯科保健啓発活動を実施
 - 事例1 プリズム健康フェスタ(6月)
寸劇、健口体操、唾液腺マッサージを実施
 - 事例2 子育て支援センター
子育てサークル支援として、ペープサート、エプロンシアターを実施
 - 事例3 町内小学校
寸劇、紙芝居を実施
 - 事例4 地区の長寿会
寸劇を実施

実績(平成29年度)

- ・ 定例会 10回
- ・ 会議等 16回
- ・ 公演活動 12回、参加者 延632人

事業の様子



子育て支援センターでの活動



こども園での活動



小学校での活動



なら歯と口腔の健康づくりフェスティバル
(王寺町)での活動

ウェルネスシティ宇陀市 よい歯のコンクール(宇陀市)

事業の位置づけ

- ・ ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画

事業の背景・目的

- ・ 生涯にわたり健康で楽しい食生活をおくるため、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた歯科口腔衛生を推進する。
- ・ 市民が歯の寿命を延ばし、いつまでも健康で豊かな人生をおくれることを目標に、事業を通じて普及啓発を行う。

事業内容

- ・ こども部門(3～5歳児、小学校1～3年生、小学校4～6年生、中学生)、おとな部門(成人～64歳)、高齢者部門(65～79歳、80歳以上)に分類して、市独自の審査基準によりコンクールを実施
- ・ 広報等で参加者を募集後、申込者に、各部門別の質問票と予約時間を記載した受診券を事前に送付
- ・ 口腔審査後、歯科医師から健診結果について、丁寧な説明を実施
- ・ 申込者の家族も歯と口の健康づくりに取り組めるよう体験ブース(咬合力チェック、口腔内細菌のチェック、唾液緩衝能等)を設置して、普及啓発を実施
- ・ 申込者は「笑顔の写真コーナー」で写真撮影を行い、コンクール結果とともに郵送
- ・ コンクール13日後に各部門の最優秀者の表彰式を実施、その後広報誌掲載及びケーブルTV放送を通じた啓発を実施
- ・ 平成30年度からフッ化物塗布を実施

特色

- ・ 宇陀地区歯科医師会各会員に、募集ポスターの掲示・応募チラシの設置・該当者の推薦等の協力依頼を実施
- ・ 校長、園所長会議で事業説明を行い、募集ポスターの掲示と生徒、児童、園児に対して応募チラシの配布を依頼
- ・ 審査票は、広範に参加者を募れるよう、義歯を使用する高齢者や治療済みむし歯のある参加者に配慮した様式を、市と宇陀地区歯科医師会で考案して各部門別に作成
- ・ 申込者以外も楽しめるよう体験ブースを設置
- ・ 体験ブースの内容を、ライフステージ別に設定
- ・ 表彰式で、高齢者部門(80歳以上)の最優秀者に、歯の健康維持について体験談の発表をしてもらっている。

事業予算

- ・ 329千円(平成30年度)

実績

- ・ 平成28年度: 8月21日(日)開催
申込者 69人、体験者 100人
- ・ 平成29年度: 8月20日(日)開催
申込者 66人、体験者 100人
- ・ 平成30年度: 8月19日(日)開催
申込者 71人、体験者 120人、フッ化物塗布 33人

事業の様子



受付



体験ブース



コンクール審査



コンクール審査

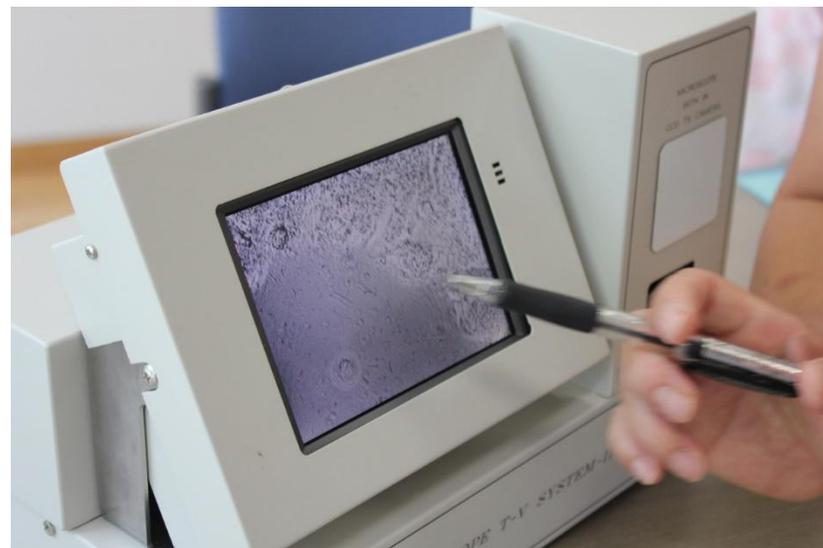
事業の様子



体験ブース(咬合力チェック)



体験ブース(口腔内細菌のチェック)



体験ブース(口腔内細菌のチェック)



体験ブース(口腔内細菌のチェック)

事業の様子



体験ブース(唾液緩衝能検査)



体験ブース(口臭チェック)



フッ化物塗布



フッ化物塗布



笑顔の写真コーナー



笑顔の写真コーナー



コンクール結果と一緒に郵送



よい歯のコンクール表彰式（平成30年9月1日(土)実施）



健康と福祉のフェスティバル(五條市)

事業の位置づけ

- ・ 五條市歯と口腔の健康づくり推進条例
- ・ 五條市健康増進計画

基本理念

- ・ 市民一人ひとりの健康寿命の延伸と健全な運動習慣や健康的な食生活の実践を促進するとともに「自分の健康は自分が守る」を基本理念とする。

事業の目的

- ・ 五條市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定を記念し、市と五條市歯科医師会とが連携して歯科保健に取り組み、また、市民が生涯にわたり、歯と口腔の健康の保持増進に積極的に取り組むことができるようになることを目的とする。
- ・ いつまでも住み慣れた地域で、いきいきと健康で安心して暮らすことができるまちづくりの場となることを目的とする。

特色

- ・ 平成27年に五條市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定後、平成28年、29年に前身となる「歯と口腔の健康づくりフェスティバル」を五條市歯科医師会協賛により実施。
- ・ 平成30年度は、規模を拡大し、「健康と福祉のフェスティバル」として、更に多数の協力団体と連携のもと、「歯と口腔の健康づくり」及び「全身の健康づくり」を総合的に推進。

事業内容

- 「みんなで健康づくり～体験して学ぼう～」をテーマとして、体験型イベントの開催
 - ・ 平成28年度から実施
 - 1 歯と口腔の健康づくり
なりきり歯医者さん体験、フッ素塗布、紙芝居、大人の歯科検診・相談、歯科口腔講演会、デンタルラリー
 - 2 食育コーナー
 - 3 健康ヨガ
 - ・ 平成30年度から追加して実施
 - 1 生活習慣病予防、介護予防の普及
体組成測定コーナー、健康、介護等各種相談コーナー、認知症予防コーナー等
 - 2 食育フェスタ
ミニ食育講座、食に関する体験コーナー、試食コーナー、ポット菜園
 - 3 歩きませんか(歩行運動の推奨)
 - 4 笑いヨガ
 - 5 ドクターヘリがやってくる！(奈良県ドクターヘリの紹介)
 - 6 おもちゃ博物館 等

実績

- ・ 年1回開催
- ・ 参加者数

平成28年度	135人
平成29年度	161人
平成30年度	1,000人



なりきり歯医者さん体験



大人の歯科相談



フッ素塗布

後期高齢者医療口腔健診事業(下北山村)

事業の位置づけ

- ・ 健康しもきた21計画(第2次)

事業の背景・目的

- ・ 下北山村は公共交通手段に乏しく、歯科診療を受けにくい環境にある。歯科診療所は村内1か所(週2回、午前のみ開院)である。歯科衛生士も常勤していないため、歯科健診もしくは歯科指導・相談を受ける機会が少ない。

そのため歯科健診定期(年1回)受診者は18%と低く、口腔状態の健康意識が低く、自覚症状があっても痛みが出るまで歯科受診をしない住民が多いと推察される。

8020達成率も0%(平成26年度)であり、本事業を通じて8020達成率の増加を目指す。

事業内容

- 1 歯科医師による講話「健康寿命を延ばそう」
- 2 問診票の記入(保健師2名体制)
- 3 口腔内検査、口腔機能検査(歯科医師2名体制)
- 4 歯科口腔保健指導(歯科衛生士2名体制)
 - ・ 健診結果の説明
 - ・ 歯ブラシ、歯間ブラシ、舌ブラシ、義歯洗浄剤、義歯ケースの使用方法的説明
 - ・ 歯科口腔ケア物品の配布
- 5 受診勧奨・受診確認(対象:検査の判定が要治療の者)

特色

- ・ 対象者への保健師による案内及び受診券配布(村内居住者は訪問により説明文と共に配布、施設入所等は郵送)
案内時に問診票の事前記入を依頼することで、当日の円滑な事業執行に貢献
- ・ 交通手段がない対象者のために村による送迎を実施
- ・ 事業の円滑な執行を目的に、健診前に歯科医師による講話を実施して、健診内容を併せて説明
- ・ 検査の判定が要治療の者に対しては、保健師が電話で受診勧奨及び受診確認を実施

事業予算

- ・ 歯科衛生士雇い上げ等 25千円
- ・ 歯科口腔ケア配布物品 15千円
- ・ 歯科医師に係る予算は、後期高齢者医療広域連合で確保

実績

- ・ 平成29年度は、個別方式で実施。受診者数ゼロ
- ・ 平成30年度は、集団方式で1回実施。受診者数13人

事業の様子



講話「健康寿命を延ばそう」



口腔内検査、口腔機能検査